



# 朝風

平成 25 年度  
学校報朝風地域版  
大仙市立  
大曲南中学校

今月の乾坤一筆

## 「一念 岩をも通す」

校長 黒田清志



いよいよ、今年も郡市総合体育大会がやってきました。この大会は、秋の新人戦や春季大会とは違った重みのある大会です。なぜなら、この大会は、全県大会だけでなく、東北大会や全国大会に通じている大会だからです。運動部に所属している生徒なら誰でも、この大会で自分の最高のパフォーマンスが発揮できるよう日ごろから努力してきたはずです。

特に、3年生にとっては今回が中学校最後の総合体育大会となります。「中学生時代の運動部活動の集大成」ともいえる大会です。日頃から鍛えてきた体と磨いてきた技、そして、くじけることのなかった強い心を十分に発揮し、優勝を目指してがんばってきてください。

さて、中国の故事に「一念 岩をも通す」ということわざがあります。「一念」とは「一つの事だけを深く思いこむ」ことをいいます。「一念、すなわち、一つの事だけを深く思いこむことが、岩をも通すことができる」ということです。

中国が楚（そ）と呼ばれた時代に 能渠子（のうきょうし）という勇敢（ゆうかん）な武将がいました。渠子が一人で夜道を歩いているとき、暗闇（くらやみ）の中に何か生き物がいるような気配を感じました。

渠子は、それを自分に襲いかかろうとしている虎だと思いました。能渠子は、とっさに、持っていた弓を渾身の力で引き、その虎をめがけて放ちました。矢は生き物に命中しました。しかし、ピクリともしません。渠子が恐る恐る近づいて見ると、何とそれは虎ではなく、大きな岩だったのです。ただ、その岩には渠子が射った矢が突き刺さっていました。本来であれば、岩に弓矢が刺さるはずなどはないのですが、渠子が矢を射るときの「一念」が矢に入り、そのことを可能にしたというものです。

渠子は一矢で虎をしとめなければ自分の命はないと判断し、その一念が岩をも突き刺したということです。気持ちを込めて、精神を統一して事を行えば、困難なことも可能になることを訴えています。

総合体育大会に出場する選手に実力差はありません。勝負の分かれ目は、上位大会に出場したいという「一念」が強いか弱いかだと思います。気持ちで負けないで戦っててください。

最後に、この総合体育大会では優勝を目指し、全県大会や東北大会・全国大会を目指してがんばることはもちろん大切ですが、大会に出場したすべての生徒が、結果はどうあれ、「自分の力を出し切り、やり遂げた満足感を実感できることが何よりも大切だ。」と私は考えています。地域や保護者の皆さんのバックアップを、大きな力に「力尽きるまで、燃えてってください。」皆さんの勝利を願っています。

## 環境教育 → ESD



○本校では、昨年度より、環境教育を一步進めて“ESD”を意識した取組みを進めています。その“ESD”とは何か？ということについて、2人のゲスト（TさんとKさん）の対談形式で説明してみたいと思います。名づけて…

### 「ESD が 30 秒でわかる対談」

T: ESD ってなんだべ？

K: **E**ducation for **S**ustainable **D**evelopmentの頭文字をとった言葉だべった！

T: 英語、わからねっし。

K: **Sustainable** は「持続ができる」という意味で、**Development** は「開発とか発展」の意味。だから、そのための **Education**「教育」ってことだな！

T:「持続できる発展のための教育」？わかるようでわからねっし！

K:つまり、無限ではない地球上のものを俺たちがどんと一度に使ってしまったら将来の人たちが困るべ。だから、今の人も将来の人たちも発展できるように、地球全体のことを考えて行動できる人を育てることなのだよ。

T:へば、大曲南中では何をやるんだしか？

K:それはね、



左図参照 …。



○今年度はエネ ルギー・国際理 解・食育の3つ の分野で ESD の基本的な考え に迫ります。



## 11月29日(金)は本校で 小中学校環境教育全国大会!